

秋サケ回帰情報 (No. 2: 中期分)



令和 8 年 1 月 8 日
岩手県水産技術センター
漁業資源部 (及川)
TEL: 0193 (26) 7915
FAX: 0193 (26) 7920
e-mail: CE0012@pref.iwate.jp

トピックス

- ◎ 12月10日までの回帰尾数*は、前年比41.1%の1.3万尾。
- ◎ 4歳魚を中心とした年齢構成で、魚体は前年と同様に小型の傾向。

*速報値 (県庁水産振興課 秋さけ漁獲速報より)

1. 回帰資源量

12月10日現在の回帰尾数は1.3万尾(32トン)で前年比41.1% (重量比37.7%)。内訳をみると、沿岸漁獲は前年比37.8% (6.0千尾)、河川漁獲は前年比47.4% (6.9千尾)。種卵確保対策による海産親魚は102尾となっています。河川漁獲の割合は52.9%と前年(46.0%)を上回りました。また、当センターが発表した12月10日までの回帰予測尾数は2.9万尾であり、実績は予測の45.3%となっています(図1)。

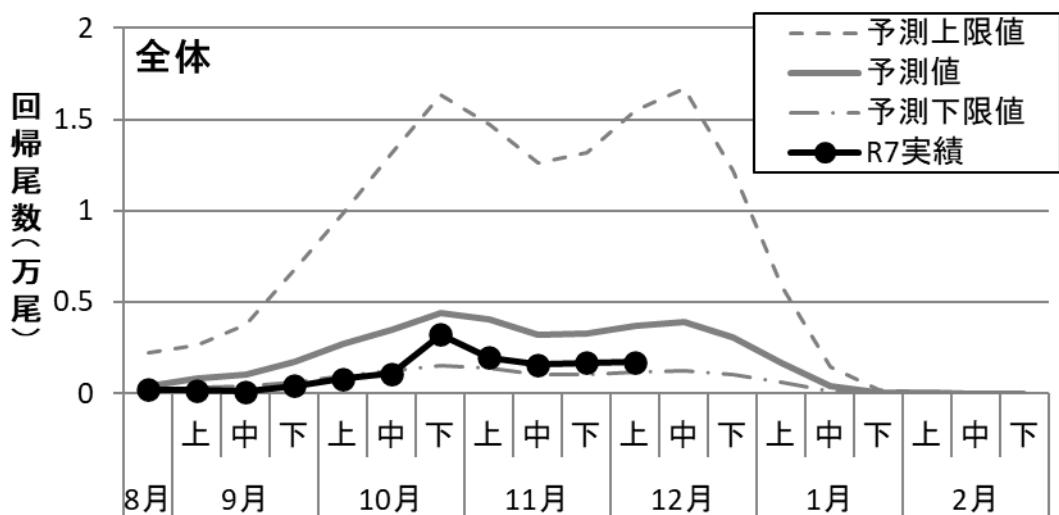


図1 岩手県の回帰尾数の旬別推移

2. 回帰親魚調査結果（中期：12月10日までの分）

片岸川及び津軽石川において、ふ化場の協力を得て回帰親魚調査（片岸川57尾（近隣河川である熊野川を含む）、津軽石川83尾）を行いました。なお、例年調査を実施していた織笠川については、10月31日夜間の豪雨被害により、調査を実施することができませんでした。

（1）年齢組成

片岸川

オスは3歳魚32%、4歳魚68%、5歳魚0%（R6：3歳魚45%、4歳魚52%、5歳魚3%）、メスは3歳魚27%、4歳魚73%、5歳魚0%（R6：3歳魚33%、4歳魚54%、5歳魚8%）で、前年同期と比べるとオスメスともに4歳魚の割合が高くなり、3歳魚の割合が低くなつたほか、5歳魚以上の回帰はありませんでした（図2）。

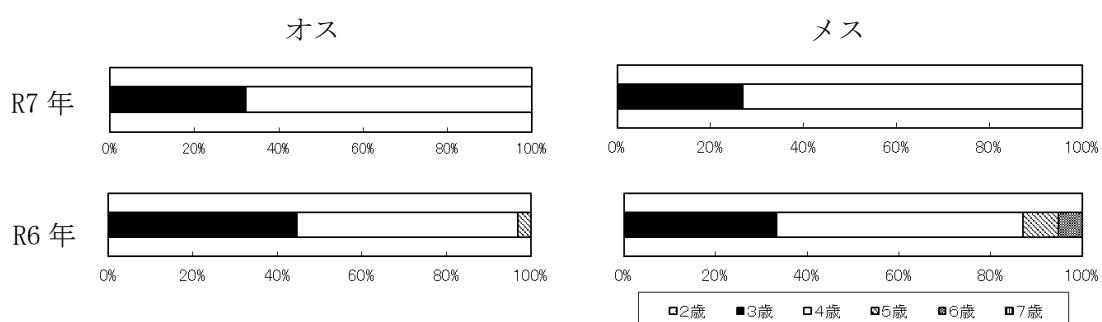


図2 片岸川（R7は熊野川を含む）雌雄別年齢組成

年齢査定の結果に河川回帰尾数（R7：121尾、R6：138尾）を乗じて算出した年齢別回帰尾数を見ると、3歳魚は前年の69%、4歳魚は前年の1.2倍となつています（図3）。

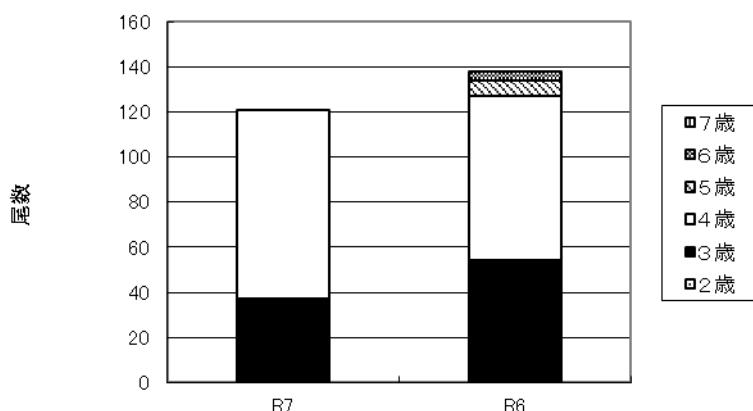


図3 片岸川（R7は熊野川を含む）年齢別回帰尾数

津軽石川

オスは3歳魚 20%、4歳魚 71%、5歳魚 9% (R6: 3歳魚 14%、4歳魚 76%、5歳魚 9%)、メスは3歳魚 24%、4歳魚 63%、5歳魚 13% (R6: 3歳魚 13%、4歳魚 75%、5歳魚 10%)で、前年同期と比べるとオスメスともに3歳魚の割合が高くなり、4歳魚の割合が低くなりました。5歳魚の割合は同程度でした。(図4)。

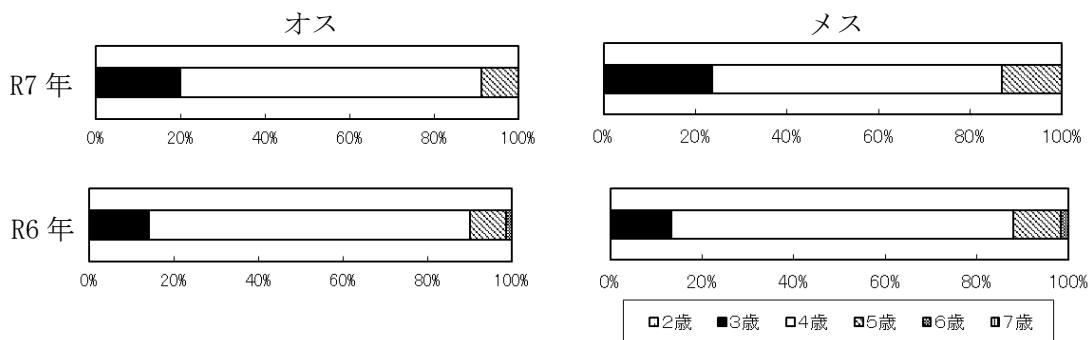


図4 津軽石川雌雄別年齢組成

年齢査定の結果に河川回帰尾数 (R7: 174 尾、R6: 631 尾) を乗じて算出した年齢別回帰尾数を見ると、3歳魚は前年の 45%、4歳魚は前年の 25%となっています (図5)。

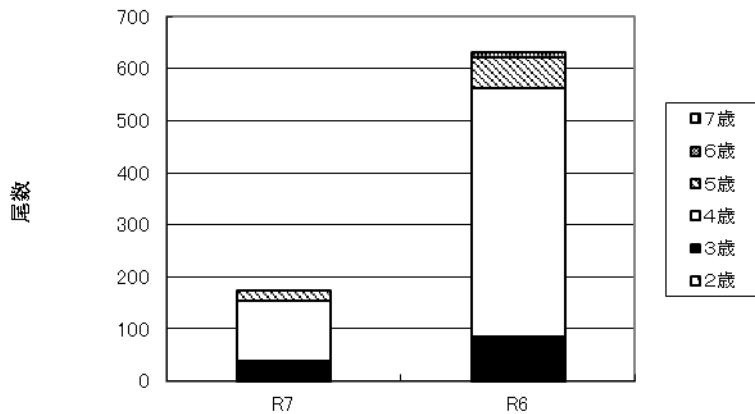


図5 津軽石川年齢別回帰尾数

(2) 年齢別尾叉長、体重、肥満度

片岸川

魚体測定の結果、オスの平均尾叉長は 63.9cm、体重は 2.4kg、肥満度は 9.1、また、メスは 62.7cm、2.2kg、8.5 でした。前年同期と比較すると、オスメスともに平均尾叉長・体重・肥満度が前年を下回りました (表1)。

表1 片岸川（R7は熊野川を含む）年齢別平均尾叉長・体重・肥満度

(オス)	尾叉長 (cm)		体 重 (kg)		肥満度		(メス)	尾叉長 (cm)		体 重 (kg)		肥満度	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6		R7	R6	R7	R6	R7	R6
3歳魚	58.3	59.5	1.7	2.1	8.7	9.6		55.3	58.0	1.4	1.9	8.2	9.8
4歳魚	66.0	67.0	2.7	3.0	9.2	10.0		64.2	66.0	2.3	2.6	8.5	9.2
5歳魚	—	70.4	—	3.7	—	10.7		68.9	—	3.1	—	9.6	
全体平均	63.9	64.5	2.4	2.7	9.1	9.7		62.7	64.3	2.2	2.5	8.5	9.4

津軽石川

魚体測定の結果、オスの平均尾叉長は 66.7cm、体重は 3.0kg、肥満度は 9.8、メスは 64.7cm、3.0kg、10.3 でした。前年同期と比較すると、オスの 3 歳魚では尾叉長、体重、肥満度が前年を上回り、4 歳魚では前年を下回りました。また、5 歳魚は肥満度のみ前年を上回りました（表2）。メスの 3 歳魚では肥満度が前年を上回り、4 歳魚では前年を下回りました。また、5 歳魚は尾叉長、体重、肥満度が前年を上回りました。全体の平均はオスでは尾叉長及び体重、メスでは尾叉長のみ前年を下回りました。

表2 津軽石川年齢別平均尾叉長・体重・肥満度

(オス)	尾叉長 (cm)		体 重 (kg)		肥満度		(メス)	尾叉長 (cm)		体 重 (kg)		肥満度	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6		R7	R6	R7	R6	R7	R6
3歳魚	61.1	59.9	2.2	2.0	9.4	9.3		57.2	57.6	1.9	1.9	9.9	9.7
4歳魚	67.2	70.0	3.0	3.4	9.7	9.8		64.8	66.7	2.8	3.1	10.2	10.5
5歳魚	72.3	75.1	4.3	4.4	11.0	10.1		75.2	70.7	5.0	3.9	11.4	11.0
全体平均	66.7	69.1	3.0	3.3	9.8	9.8		64.7	65.8	3.0	3.0	10.3	10.3

3. その他

令和 7 年 12 月 10 日現在の秋サケ回帰状況は、極めて低調だった昨年を下回り、予測下限値近くを推移しています。

調査河川においては、4 歳魚（令和 3 年級）を中心に回帰し、5 歳魚（令和 2 年級）の回帰尾数が少ないとことから、全体の回帰尾数の減少と平均体重の低下が生じています。また、回帰の主体である 4 歳魚の尾叉長、体重、肥満度が減少しており、前年と比べて小型になっています。

回帰尾数は減少しておりますが、放流尾数の少なかった令和 3 年級が漁獲の主体となっていることから、大型で強い稚魚を適期に放流することが、今後のサケ親魚の回帰において重要と考えられます。